



大新だより

令和 5(2023) 年2月1日
和歌山市立大新小学校

大新教育「よりよい子どもを育てるアンケート」集計結果について

暦の上では、もうすぐ立春となり、寒い中にも、梅のつぼみや水仙の花など春の気配が感じられます。保護者の皆様、地域の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。



ヒヤシンスの水耕栽培

さて、昨年12月に大新教育「よりよい子どもを育てるアンケート」を実施しました。お忙しい中ご回答いただき、ありがとうございました。集計結果を裏面に掲載していますので、ご覧ください。

保護者アンケートの「A:小学校全体について」は、概ね肯定的な評価を頂いております。しかし、「いじめをなくす学校・学級づくりへの取組」については、昨年同様、課題を感じられている方がおられます。今まで以上に子供たちとのコミュニケーションを大切に、子供たちの思いを受け止め、寄り添い指導するとともに、道徳の時間や学級づくりを充実していきたいと思っております。ご家庭との連絡もより密に行い、次年度に向けて改善していきます。またその一方で、学校での取組も十分に伝わっていないと感じ、学校での取組を懇談会や便り等を通じてお知らせすることの必要性を感じています。

「B:お子様について」は、昨年同様「だれにでもあいさつができる」の項目に、まだまだ課題が見られます。児童アンケートでも、同様でした。昨年度のアンケート結果を受け、本年度は、1学期に「あいさつ」、2学期に「学校での出来事をよく話す」に強化して取り組んでまいりました。保護者様には学校だよりで、子供たちには集会での講話や朝の校門でのあいさつ等で、「あいさつ」の啓発を行い、元気にあいさつできるようになってきていると感じていましたが、アンケートには反映されませんでした。あいさつの啓発は引き続き取り組んでまいります。「学校での出来事をよく話す」については、肯定的な評価が増えました。親子の会話がふえ、お子様の成長に好影響となることを期待しています。これからも、ご家庭で子供が進んで話したくなるような、楽しく感動的な活動ができるよう、学習課程に創意工夫を行っていきたく思います。お忙しい保護者様もいらっしゃるかとは思いますが、お子様との時間をゆったりと取ってコミュニケーションを図ってください。また、大新小学校の「あ(いさつ)、い(のち)、う(んどう)、え(が)お、お(もいやり)」についても、継続して取り組んでいきます。

今後も、子供一人一人に寄り添い、子供達が楽しく学び活動できる学校を目指していきます。



学校長 山本 恵子



ジビエクラフト体験

1月19日(木)和歌山県農林水産部畜産課の方を講師にお招きし、ジビエクラフト体験の授業がありました。捕獲したシカやイノシシを食肉としてだけでなく、皮革製品としても大切に利用していることを学びました。



なかよしランド

1月24日(火)、27日(金)になかよしランドを実施しました。事前になかよし活動の時間に準備した遊びを他のグループのお友達に挑戦してもらいました。寒さを吹き飛ばすくらいの楽しい笑い声が体育館中に広がりました。

